



謹啓

時と柄を以て情業
を思ひ契其陳文讀素
新字社負わして小生の
友人なる黒田朋信と
中人流鉄の儀多し
如何の故に有らば
此中流の儀多し
先夫御館介と云ふ
是寸柄共 勿と也

二月十日

石野金吾

大隈伝書附殿

閣下



友人なる黒田朋信と
申人法統の儀多し
忠何の及む所也
此中落し極上其
先夫御館介と云ふ
是寸格共 勿と云

二月十五日

辰野金吾

大隈伯爵殿

閣下

大隈伯爵殿

黒田朋信氏持参

八

二月十五日

辰野金吾